

家康公生誕の地・岡崎を巡る(八丁味噌・真宮遺跡・馬頭緑道・乙川沿いの桜)

【基地】 Daily YAMAZAKI

名鉄 東岡崎駅 北出口から約100m

— [その2コース] : 16km (JVA認定16km)
— [その3コース] : 11km (JVA認定11km)

ウォーキングマナー 五ヶ条

- ① やあ!お早う 明るい挨拶 さわやかに
- ② 信号で、あわてず あせらず 待つ余裕
- ③ ひろがるな、参加者だけの道じゃない
- ④ 自分のゴミ、自分の責任持ち帰り
- ⑤ 歩かせて、いただく土地に感謝して

【見どころガイド】

- ・八丁味噌：岡崎市の一部(「カクキュー」と「まるや」の2社)で生産されている、米麹を用いず大豆のみから作られる豆味噌の一種で、赤褐色の辛口味噌である。3年間熟成され、うまみが多く独特の渋みがあり、甘みが少ないのが特徴。岡崎城から8丁の地点で当時はこの辺りを八丁村(現在八丁町)と称し、この味噌が生産されていたことからこの名がついたと言われている。
(「純情さら」スタート撮影場所)
- ・真宮遺跡：矢作川をのぞむ段丘上にある縄文時代晩期(今から約3,000年前)から鎌倉時代にかけての複合遺跡で昭和48年区画整理中に発見された。ここからは住居跡や石斧・土偶・石剣などの諸種のものが発見され、縄文晩期の土器棺などが残され国の史跡に指定されている。
- ・馬頭緑道：この地は昔吉良道として往来が盛んなところ、ある時京ヶ嶺山の麓に光り輝くものがあつた。村民がおそろおそろ掘り出したところ馬頭観音像であつた。以来村里に祀って豊な里になった。寛治4年;馬頭村、明治11年;和合村、明治22年;美合村、昭和3年;岡崎市美合町と変遷した。
昭和48年岡崎馬頭土地区画整理事業 開始、事業完成に伴い先人の遺徳を偲びつつ「太陽の広場」を始め5つのゾーンを総称して馬頭緑道と命名した。
- ・乙川の河津桜：明大寺町・竜美丘会館北の乙川沿いに「葵桜」がある。2月下旬に濃いピンクの花が咲く。平成13年1月、近くに住む三橋美千子さんが「21世紀の初めに、桜を植えよう」と呼びかけ河津桜85本が植樹された。早咲きの河津桜は、最初ピンクが濃くしだいに白さが増す。白くなったり葉を付ける前が見頃。
- ・六所神社：明大寺町にある神社。社記によると、奥州塩竈六所大明神を勧請し、建立された。徳川家康の産土神として、江戸幕府の厚い保護を受けた。
櫻門は昭和10年に国指定の重要文化財となる。権現造りの絢爛豪華な門である。社殿は本殿、幣殿、拝殿、神供所も昭和10年に国指定の重要文化財となる。現在の本殿、幣殿、拝殿は寛永11年(1634年)〜同13年に徳川家光の命を受けて改築されたものである。

【注意事項】

1. 基地(Daily YAMAZAKI)で、参加料:200円を添えてお申込みください。受付処理した後に、コース地図が貰えます。
2. 歩行者は必ず午後5時までにゴールしてください。
3. ゴールでは必要に応じてパスポートにJVA印の捺印が貰えます。
4. コース内の歩行は各人の自己責任とし、交通ルールを守って下さい。歩行中の事故などに関してはコース作成者に責任の無いものとします。
連絡先:岡崎ウォーキング協会 植野(0564)48-8105

